

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人 むげんのかのうせい
施設名	えがおあけぼの保育園
報告者（役職）	井上 恵子（園長）
住所・連絡先	三重県伊勢市小俣町明野 1653 番地
	☎ 0596-22-2665 E-mail egao-akebono@ace.ocn.ne.jp

○タイトル（保育計画）

響け！ 繋がれ！ えがおの “しあわせ太鼓”

○主な助成備品

平太鼓セット

1. 保育計画策定の目的

当園は令和3年4月に公立保育園からの民間移管で、私立えがおあけぼの保育園として開園しました。法人としては3園目の園ですが、新規で開園した他2園と違い、ある日を境にそれまでいた先生たちが突然いなくなり戸惑う園児や、移管に不安を抱える保護者の方との関わりに、職員も手探りの状態で保育を行ってきました。「民間移管後、5年間は公立保育園であ



った時の保育を引き継ぐ」という形でスタートし、園児や保護者の方と少しずつ信頼関係を築き、その中で、当法人の理念や保育活動も少しずつ受け入れられてきました。公立保育園であった時の保育活動や行事も残しつつ、他2園で行っている園庭体育（サッカー教室）や就学に向けた幼児教室、えがおの会（集会）などを徐々に取り入れています。園庭体育はバスや電車で2園の年長児が当園に来て、サッカーの試合を通して交流を行っています。3園の保護者の方が応援に来てくれ、大変喜んでいただいています。そこで更に当法人保育園の特色を取り入れていこうと、姉妹園で特別活動として行っている「和太鼓教室」に取り組むことを考えました。園児が運動会や卒園式で演奏することで、保護者の方や地域の方に当



法人保育園の特色を知っていただくだけでなく、子どもたちには日本の伝統的な楽器に触れる機会を作り、和太鼓を演奏する楽しさを知ってもらいたいと考えました。そして「和太鼓教室」という同じ活動を通して、子どもたちや保護者の方、地域の方に3園の繋がりを更に感じてもらえればと思います。

2. 具体的な実施内容

近隣にある姉妹園で、以前から和太鼓教室の講師をして頂いている作野先生を、当園でも講師としてお招きし、月1回和太鼓教室を開催することになりました。和太鼓が届いた日、“やっとこの保育園でも和太鼓に取り組めるんだ！”というワクワクした気持ちと、これまで27名という大人数の子どもたちでの和太鼓教室を経験したことがなく、どのように教室を進めていくのだろうかという不安な気持ちが入り混じっていました。

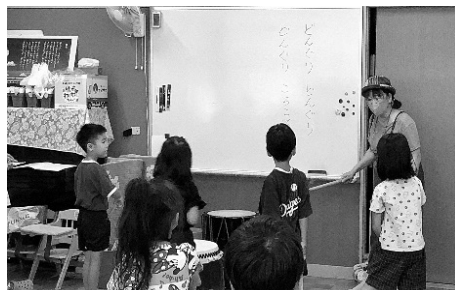
担任の2人は年長クラスを受け持つのも初めてなら、和太鼓教室も初めて、その上、この保育園で和太鼓という取り組みをするのも初めてで、相当なプレッシャーがあっただろうと思います。

初めての和太鼓教室の日、遊戯室に並ぶ15台の和太鼓を見た子どもたちから、「わぁーっ！」という歓声があがりました。すぐにでも和太鼓を叩いてみたい子どもたちですが、まずは準備運動から。先生と一緒に手首や肩を回したり、アキレス腱を伸ばしたり…。次はバチの持ち方、そして礼の仕方です。ピアノの音に合わせて礼をするのとは違い、「1、



2、3でゆっくり頭を降ろし、そこで止めてまた1、2、3でゆっくり頭をあげてくる」という動作を、「1、2、3、止め、1、2、3」と心の中で唱えながら、27人全員が息を合わせて揃うまで。最初はその動作だけを30分ほど行いました。これには子どもたちも、担任も“いつまでやるんだろう…”、“いつになったら太鼓を叩かせてもらえるんだろう…”と不安になりました。普段は子どもたちが楽しく和太鼓に取り組めるようにと、とてもお茶目な先生ですが、挨拶や姿勢等、礼儀作法はしっかりと指導してくれます。

和太鼓教室の後の先生との打ち合わせで、年長児の和太鼓初披露は10月の「運動会」でのオープニング演奏と決まりました。運動会での演奏に向け、平太鼓の他に締め太鼓や長胴太鼓、鉦を法人が準備してくれました。そして、作野先生が27名で行う演奏の構成を考えて下さいました。長胴太鼓、Aグループ、Bグループ、Cグループの4つにグループを分け、全員で叩く箇所、同じリズムを順番に叩く箇所、また逆の順番で叩く箇所…、音の強弱をつけたり、掛け声をかけたりしながら3分ほどの長さの演奏になりました。





5月、6月、7月は礼の仕方や、太鼓を叩く際の姿勢を体に覚えさせます。最初はきちんと出来ていても時間が経つてくると礼がバラバラになってしまったり、太鼓を叩く時に脚が閉じてしまったりします。また、大きくバチを上げる時は腕をピンと伸ばしたり、動作一つひとつにメリハリを付けたり、普段の生活では意識しないところまで所作に気を付けないといけません。息が合うまで繰り返し繰り返し練習しました。

7月の「夏まつり会」が終わり、年長児は10月の運動会に向けて本格的に練習が始まりました。和太鼓の他にも、かけっこ、リレー、フラッグ、組体操と年長児はたくさんの競技があります。保育園最後の運動会ということで、子どもたちも担任も少しでも良いものにしようと、遊戯室や園庭、保育室でフラッグや組体操などの練習に取り組んでいました。

和太鼓教室はいつも遊戯室で行っていますが、和太鼓教室が無い日は保育室に和太鼓を運び、担任と毎日毎日コツコツ練習を重ねてきました。帰りの会が終わると保育室での練習が始まります。「練習したい人〜？」と担任が聞くと「はいっ！」「はいっ！」とあちこちから元気な声がします。隣の事務所で仕事をしていると、最初は自信がなく控えめでバラバラだった太鼓の音が、日に日に段々と揃い、自信に満ちて一つのリズムになっていくの聞き、とても嬉しく、“さすが年長さん！”と頼もしく思いました。



9月になると、運動会と同じように園庭での練習も始まりました。今年の夏の暑さは特に厳しく、9月半ばを過ぎても暑さ指数が高く、思うように練習ができない日が続きました。それでも、日が高くなる前の午前中の早い時間や曇りの日、午後のオヤツの後など、なるべく短時間で、園庭での練習を行いました。室内と屋外では太鼓の響き方も違うため、心配に

なった作野先生が、和太鼓教室が無い日にも園庭での練習を見に来てくださいました。また、他のクラスの先生たちも和太鼓を並べたり、リズムに遅れてしまう子をサポートしたり、今後の参考にと動画を撮ってくれたり、職員全体で運動会の和太鼓を成功させようと協力してくれました。額に汗を浮かべながらの練習でしたが、練習をしたくないという子もおらず、それどころか「練習終わったらちょっと遊んでいい？」と、練習のあと、園庭を駆け回る元気いっぱいの子どもたちでした。

3. その成果と評価

予定していた運動会の日は、夜中に雨が降り、園庭がぬかるみ、あちらこちらに大きな水たまりができていました。みんなでスポンジや雑巾で水を吸い取れば運動会はできるのではないかと考えましたが、初めての和太鼓披露、太鼓の脚が泥土に沈み不安定ではないか、太鼓を叩く子どもたちも足元が気になり、演奏に集中できないのではないかと、和太鼓だけでなくその後の組体操もぬかるんだ園庭ではなく万全の状態で演技をさせてあげたいと、運動会を翌週に延期することに決めました。週が明け、運動会が延期になり残念そうな子どもたちでしたが、すぐに気持ちを切り替え、次の運動会の日までの1週間も、担任と一緒に毎日毎日練習に取り組みました。



そして運動会当日、子どもたちはとてもリラックスした様子で、登園してきました。たくさんたくさん練習をしてきたからか、どの顔も早くおうちの方に和太鼓を見てもらいたいという自信に満ち溢れた表情でした。担任の先生と元気いっぱい朝の挨拶をして、和太鼓の準備に取り掛かります。衣装は一人ひとりの名前がプリントされたお揃いのTシャツに、頭には赤いタスキ。現在の担任の他にも昨年度の担任、フリーの先生など、これまで子どもたち関わった先生たちがタスキを結んだり、衣装のチェックをしたりして本番の舞台へ送り出してくれました。いよいよ運動会！たくさんのおうちの方が今か今かと和太鼓が始まるのを待っています。そして、そのおうちの方の前には今まで一緒に練習をしてきた担任の先生がみんなの名前を一人ずつ呼び、子どもたちは元気いっぱい返事を

していきます。一人ずつ子どもたちの名前を呼ぶ先生の声が震えていました。ここまで練習を頑張ってきた子どもたちの堂々とした姿に感動したそうです。それから鉦と一緒に演奏をしてくれる副担任の先生、4月から和太鼓を教えてくれた作野先生も今日は一緒に太鼓を演奏してくれます。これまでで一番の出来栄となりました。



4. 今後の課題と展望

一つの大きな目標であった運動会での和太鼓披露が終わり、作野先生と今後の練習について話をするなかで、せっかく子どもたちが練習を頑張っているのならば、もう一度演奏を披露する場を作ってあげたいと考えました。他2園と同じように卒園式で保護者の方に披露出来たら…、この1年間の和太鼓教室の活動の集大成として子どもたちの演奏する姿を間近に見てもらえたらどんなに素敵だろうと思いました。ただ、他2園と違い、倍近い園児の人数やその保護者の方が式典で遊戯室を使用すると、それだけで会場がいっぱいになってしまいます。晴天の場合は園庭を使用できても、雨天の場合はどうするか…、考えていかなければいけない課題はたくさんありますが、子どもたちには一つの大きな目標ができました。



そして今までは5歳児だけが和太鼓教室を行ってきましたが、来年度に向けて3月から4歳児も和太鼓教室を行っていきます。もともと姉妹園では4歳児、5歳児が和太鼓教室を行っていますが、当園は今年度が初めてとあって、5歳児のみの活動としてきました。来年度は4月から新4歳児、5歳児で和太鼓教室を行います。

7月の夏まつり会で5歳児が、12月の生活発表会で4歳児が、そして卒園式では再度5歳児が和太鼓演奏を保護者の方に披露していきたいと考えています。

当園が開園した時はコロナ禍でもあり、保護者の方や地域の方に保育園の活動を間近に見ていただく機会がなかなかありませんでした。今後は保育園の活動や、法人としての特色を知っていただき、保護者の方だけでなく、地域の方や子どもたちの祖父母の方にも、子どもたちの演奏する和太鼓を聞いてもらう機会を作っていきたいと思います。そして、子どもたちが日本の伝統的な楽器である和太鼓に触れ、みんなで一つのリズムを作り出す、“和太鼓って楽しい”と思えるような活動を行っていきたいと思います。

和太鼓教室を通し、子どもたちはたくさん成長してきました。このような機会を作っていただき、職員一同感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

以上